

教 育 長 様

代表者 校 園 名 : 大阪市立海老江西小学校
 校園長名 : 横田 隆文
 電 話 : 06-6451-3300
 事務職員名 : 建山 涼
 申請者 校 園 名 : 大阪市立海老江西小学校
 職名・名前 : 指導養護教諭 森川 真理
 電 話 : 06-6451-3300

研究コース
グループ研究B
校園コード(代表者校園の市費コード)
531067
選定番号
209

令和2年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和2年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	グループ研究B	研究年数	継続研究(2年目)
2	研究テーマ	<p align="center">養護教諭の専門性を活かした健康教育の研究 —子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るために必要な力の育成をめざして—</p>			
3	研究目的	<p>○幼稚園・小学校・中学校・高等学校の幼児・児童・生徒それぞれの発達段階に応じた健康教育を推進する。 ○子どもたちが、生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力「心身の健康に関する知識・技能」「自己有用感・自己肯定感(自尊感情)」「自ら意思決定・行動選択する力」「他者と関わる力」を育成する健康教育を推進する。 ○子どもたちが安心して生活を送ることができるための教育活動の基盤となる心身の保持増進を図るための連携及び健康管理のあり方を考える健康教育を推進する。</p>			
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。(MSコック10ポイント)</p> <p>(1)今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応としての健康観察、日々の消毒作業等、養護教諭自身が中心となって進めなければならない現状があり、例年通りの共同研究に時間をなかなか割けなかった。しかし、新しい生活様式の定着を図ったり、丁寧な手洗いの指導など、新型コロナウイルス感染症に特化した指導は、各学校園とも創意工夫がなされた取組が行われていた。例年の様式での発表は行えなかったが、新型コロナウイルス感染症に関する対応を含めたアンケートを全養護教諭に行い、その結果を集約し、日々の業務や子ども達への指導、保健室での対応の仕方等について、コロナ禍の教育実践を進めることができた。</p> <p>(2)研究部の取組に関しては、オンライン会議やメール等を活用しながら、全校園の養護教諭を対象に前年度に実施した調査に基づき「養護教諭の専門性の向上をめざして—養護教諭の実務について—」の一年次報告を3月の定期研修会とする予定である。コロナ禍において、研究の期間を伸ばさざるを得なくなったが、逆に新たな視点に特化した、専門性の向上を図る為の取組を追加することができた点は、良かった。</p> <p>(3)全国レベルの研究、研修会の中止や出張を控えなければならなくなったことにより、報告・伝達講習はできていない。その為に計画をしていた予算については、教育活動実践に使用する大型物品の購入費用に充てた。これらの物品は、今後も引き続き専門性を高める指導へとつなげることができるものと予想する。</p> <p>(4)保健室統計データ(保健月報)については、学校再開後、今までと同様に、集計を行っている。今年度の新型コロナウイルス感染症のデータは、今後、様々な情報提供にもつながるものと考えられる。コロナ禍で、子ども達は、また新たな健康課題や問題点を見せつつある。子ども達が発信しているサインに、いち早く気づき問題解決につなげることができるよう、今後も引き続き、日々の丁寧な業務を推進していきたい。</p>			
		<p>大阪府教育振興基本計画に示されている、「子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上」および「教員の資質や指導力の向上」について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 研究・研修活動において学んだことを、各校園での健康教育実践に生かし、校園の健康教育のレベルの向上を図る。また、養護教諭自身の、子どもたちに対する発達段階に応じた適切な指導を効果的に行う知識や技量の向上を図る。</p> <p>《検証方法》 各種研修会に参加し、研修内容を自校で実践し、その結果を各区・ブロックの部会を中心に協議する。また、その協議内容を全体場で発表等を行い、共有する。</p> <p>[検証結果と考察]</p>			

5	成果・課題	<p>検証方法に挙げた各区・ブロックを中心の実践協議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応により変更し、大阪市養護教員会として「新型コロナウイルス感染症対応に関する調査」を行い、調査結果から見えてくる子どもたちへの指導を行うため、全市の養護教諭から集めた指導資料等の提供を行い、各学校園での取組の一助にしてもらった。養護教諭の経験年数等による指導内容のばらつきも補えることができ、子どもたちへの適切な指導を行え、引いては養護教諭自身の専門性の向上にもつなげることができた。</p> <p>【見込まれる成果2】 生涯にわたり心身ともに健康で、活力ある生活を送るために、健康的な生活習慣を身に付け、健康を管理する能力を形成していくことができる子どもが育つよう取り組む。</p> <p>《検証方法》 各学校園内での児童生徒や保護者に対して行っているアンケート調査結果により、子どもたちの意識の変化や行動の変容を読み取り検証する。</p> <p>〔検証結果と考察〕 通常の学校園で行われているアンケート、心理的側面を読み取る新型コロナウイルス感染症についてのアンケート、先に述べた大阪市養護教員会が実施した「新型コロナウイルス感染症対応に関する調査」アンケートの結果より、さまざまな問題点を全市養護教諭で乗り越えるべく、指導を行った。資料提供もあり、各学校園の養護教諭は、新しい生活様式の定着を図る指導等、子どもたちが、コロナ禍の今、自身の健康管理のために取り組まなければならない生活習慣の獲得に向けた指導を行うことができた。今後も、この進め方が有効であるかどうか考えながら、子どもたちの為によりよい取組となるよう検討していきたい。</p> <p>【見込まれる成果3】 大阪市の各学校園の教職員に対して、定例研修会で、取り組み内容を成果報告することで、保健教育や健康教育について自校での現状を振り返ってもらえる機会とする。</p> <p>《検証方法》 がんばる先生支援事業の発表時のアンケート調査の結果により検証する。</p> <p>〔検証結果と考察〕 がんばる先生支援事業の発表が、予定通りにできていない。緊急事態宣言延長後の3月によく研修の場を設定でき、実施予定である。今年度は、新型コロナウイルス感染症対応や子ども支援の在り方を研究協議する内容ではある。今後も引き続き、コロナ禍における子どもたちに、心身の両面に様々な影響が現れることが予測されると報道等でも言われているが、私たち養護教諭は、各学校園の現場では少数職種ではあるが、専門性を持った養護教諭集団として皆で問題解決にあたることを、長年続けてきている。これからもこの長年の取組を大切に、大阪市の健康教育を進めていきたい。</p> <p>【研究全体を通じた成果と課題】 具体的に記載してください。 ・ 予期せぬ状況となり、計画していたものとは異なったが、全市の子どもたちの健康教育を進めるあたり新たな局面を臨機応変に対応する形に変更したことで、新型コロナウイルス感染症に対する指導等に関しては、全市レベルで指導がレベルアップできたと思う。 ・ 一人一人では、微力である存在の養護教諭も、全養護教諭が一丸となって取組むことの重要性を、今回再確認できた。 これからの時代、様々な感染症等で、また同様のことが起きるかもしれない。しかし、今回のように、一人一人の養護教諭の意見を大切にしながら、経験年数による不安等も取り除きつつ、自校園の子どもたちに必要な課題解決を目指せば、きっとどんな問題にも立ち向かえるだろう。今回の研究を通して、新たな自信へとつなげることができた。</p> <p>《代表校園長の総評》 新型コロナウイルスの感染拡大によって、当初の計画通りに研究を進めることはできなかった。しかし、子どもたちの健康を守るための教育推進については、一人一人の養護教諭の知識・スキルのレベルアップにつながったとともに、全養護教諭が一丸となって研究を進めることができた。予期せぬ一年となったが、各校園の連携を深め、オンライン会議など新たな研究の進め方を学ぶことができたという意味からも、よい経験を積んだ一年間であったのではないだろうか。</p>												
6	研究発表等の日程・場所・参加者数	<p>研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。</p> <table border="1" data-bbox="430 1697 1332 1859"> <tr> <td data-bbox="430 1697 523 1742">日程</td> <td data-bbox="523 1697 1024 1742">令和 3 年 3 月 8～11日 日</td> <td data-bbox="1024 1697 1161 1742">参加者数</td> <td data-bbox="1161 1697 1332 1742">約 520 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 1742 523 1796">場所</td> <td colspan="3" data-bbox="523 1742 1332 1796">大阪市教育センター 講堂</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 1796 523 1859">備考</td> <td colspan="3" data-bbox="523 1796 1332 1859">研究発表が規定外の設定になっています。</td> </tr> </table>	日程	令和 3 年 3 月 8～11日 日	参加者数	約 520 名	場所	大阪市教育センター 講堂			備考	研究発表が規定外の設定になっています。		
日程	令和 3 年 3 月 8～11日 日	参加者数	約 520 名											
場所	大阪市教育センター 講堂													
備考	研究発表が規定外の設定になっています。													